

富浦地区学校再編検討委員会の検討状況と今後について

これまでの富浦地区保護者の主な意見まとめ

- 統合して生徒数が増えることのメリットは、教育環境の観点から良い。
- 災害時・警報時の通学路の安全性への不安。学校の場所が富山地区になった場合、送り迎えの負担増への抵抗感。
- 学校の位置と、通学に関する具体的な内容を含め判断したい。
- 2校の統合では数年後に現在の人数規模に戻ってしまうため、統合するメリットが少ない。
- 2校の統合では、次の統合が短期間のうちに行われる懸念がある。
- 統合の恩恵を長く維持できるよう、三芳地区を含む3校で統合すべき。

令和8年3月26日 富浦地区学校再編検討委員会第8回会議

- 保護者委員から、協議を続けるには、三芳地区を含む3校のデータなどの提示が必要との意見があった。次年度の検討委員会において教育委員会から資料を提示することとし、協議を継続することで合意。

令和8年6月30日 富浦地区学校再編検討委員会第9回会議

【教育委員会からの説明】

- 保護者から要望のあった、3地区で統合した場合の資料を提示し、必要な教室数と、各校の受け入れ可能な時期について説明。
- 三芳地区については、出生時から小学校入学までに平均6～7人増加する傾向があり人数の見通しが難しいこと、将来的に市全体の学校再編を検討する際に三芳地区を検討したいことから、現在の協議には含まずに検討したい。
- 保護者の賛否が拮抗している中での判断は難しいものと考えている。合同会議を進めながら、具体的な話をする中で判断する方法もあると提案。
- この3年間で意見は出尽くしていると考えられ、今年度中の結論を目指したい。
- 更なる意見集約のため、未就学児の保護者を含む意見交換会の開催を提案。

【検討委員会の意見】

- 協議を先に進めるためには、通学に関する不安への対応や安全対策の具体的内容が必要。昨年度のアンケートで決を採った保護者側とすると、ここで急に合同会議に進むことはできない。
- 教育委員会で方向性（具体案）を出してもらった方がスムーズに進むと思う。仮に統合する場合も、三芳を含めた広域な方向がよいのではないか。
- 統合先や通学時の具体的な安全対策を示してもらい、それをもって協議するのがよい。

【結果】

教育委員会から統合先や通学時の安全対策等を具体的に提案することとなりました。

また、意見交換会開催の提案は取下げとしました。

今後について

教育委員会が考える統合先、通学時の安全対策等を提示する。富浦地区ではこの案をもとに再編の方向性について結論が出される予定です。

富山地区においても同様の案を提示いたします。

※ 教育委員会の案はあくまで案の一つであり、実際の学校統合の内容については合同会議で協議し、決定していただきたいと思います。

次回の会議日程について

教育委員会において統合に関する案を作成し、両地区に提案する予定です。富浦地区を先行して行う予定であり、富山地区の会議日程については、正副委員長と協議の上決定したいと考えています。